

陽の里

テーマ 新たな挑戦

発行 令和2年6月20日



社会福祉法人 新生会
総合ケアセンター サンビレッジ
〒503-2417 岐阜県揖斐郡池田町本郷1501番地
TEL (0585) 45-5545(代)
URL <http://www.sun-village.jp/>

No.144



▶留学生を迎える賑やかになりました

「変化」というものは多くの苦労を伴う。しかしそれによる試行錯誤の経験は何事にも代えがたい「宝」であると思う。これらの変化を楽しんでみてはどうだろうか。

同時期にCOVID-19という、いわゆる新型コロナ肺炎ウイルスが世界にて猛威を振るつていて。幸いにも新生会にて感染者は出でていないが、今後も感染症対策は怠ることができない。日常の生活様式も大きく変化し、3密と呼ばれる状態を回避すべく日々対策が練られている。これらのこととは実は良いチャンスとも捉えられる。当たり前のことがいかに大切であったか、ありがたかったかがよくわかる。そして普段意識しないことに対しても、口罩対策と称していくつかの思考を練る日々が続いている。一種のブレインストーミングであり、よく研修で行われることであり、お金を出さなくても経験できているのである。

令和2年になり、生活の環境は大きく変化してきている。グローバル化という言葉は聞こなれてきているが、この池田町でも十分実感ができる。今年はサンビレッジ国際医療福祉専門学校でも、介護科に9人の留学生を迎え入れることとなつた。設立当時より福祉の視点は常に国外にも目を向けていたので、不思議と違和感はないが、国際化を見るのと体感するのでは、得るものも大きく変わつてくるだろう。

サンビ校留学生の受け入れ 「新たな挑戦」

社会福祉法人 新生会 理事長 今 村 寧

「ウェルカムな姿勢で迎えることの大切さ」

サンビレッジ新生苑
副施設長 松野祐樹

「ウェルカム」な姿勢は信頼関係の原点です。

サンビレッジ国際医療福祉専門学校では、本年度4月より留学生の受け入れを始めました。留学生の皆さんには、国家資格である介護福祉士の取得を目指すわけですが、各々の文化の違いから日本における介護とはどのようなもののかと、入学前に不安に感じる留学生がほとんどです。その為、入学前にアルバイトとして受け入れを行い、サンビレッジで暮らす利用者の生活に触れてもらいました。

初めての留学生の受け入れに当

たり、受け入れチームを発足し、大切にするキーワードを皆で話し合い、万国共通の「笑顔と挨拶」を共通言語としました。私たちに置き換えるも、初めての場所で「ようこそ」「いらっしゃい」と受け入れてもらえた時の安心感、



そのキーワードは丁寧に職員間で共有され、アルバイト初日の全体会議の自己紹介では、盛大な拍手、笑顔で迎え入れる雰囲気がありました。

現在は、間接援助技術（シーツ交換、食器洗い等）の実践を通じて利用者と関わる機会を設けコミュニケーションを育んでいます。今後は、直接援助技術（身体介護等）も中期目標とし、新生活会の仲間として一緒に歩んでいきたいと思います。

サンビ校ではこの春新たに介護福祉学科に男女あわせて9名の留学生を迎え入れました。全員20代で平均年齢は24歳。若者たちはスリランカ、ネパール、ミャンマー等6つの国の出身で、本校で介護を学び卒業後は介護福祉士として日本で働くことを夢見て入学してきました。現在7名が新生活会の施設でアルバイトをしながら学業に励んでいます。

新学期の出だしは少し変則的でした。入学式はコロナの影響で中止。授業もパソコンやスマホを用いたWebで始まりました。5月半ばになつてようやく待望の対面授業が始まり、教室は一気に花が咲いたように賑やかになりました。今では笑顔と歓声が学校中に溢れています。

こうした中で大切なことが見えてきました。「質の高い介護」に触れた留学生は見事に変わることです。「お年寄りが笑っている！歩いている！」「スタッフが生き生きと仕事をしている！」施設見

留学生受け入れの実際

サンビレッジ国際医療福祉専門学校 学校長 小林月子



▲職業実践専門課程認定証明書

折も折、先日文科省から3学科の教育の質が高いことを証明する「職業実践専門課程認定証明書」が届きました。現場の教育力が高く評価されたのです。時は満ちました。さあこれからサンビ校の新しいステージが始まります。

「しんせい語録」の読み解き

新生グループには日めくりカレンダー「しんせい語録」があります。

語録には介護現場で感じたことや学んだことへのヒントが掲載されています。



vol.27

「サンビレッジの仲間たち」

サンビレッジ大垣 野原麻衣

**排泄を他人に託す
心の痛みを知る**

（株）新生メディカル 高山営業所
平野憂子

大正生まれのYさん。いつ訪問してもビシッと髪型は整えられている。その髪型と同じで自分の信念をしつかり持っている。Yさんとの関わりは私がヘルパーとなつた20年位前からで「妻には苦労をかけたので、介護で罪滅ぼしをしている」と懸命に介護をしていた。

そのYさんが数年前から入退院を繰り返し、要介護状態となりケアマネジャーとして再び関わるようになつた。昨年、病気が進行し余命半年という状態になりヘルパーに排泄介助をしてもらうことになった。ポータブルトイレに移乗し洗浄しようとすると「いい流さんでいい。さつさと拭いてくれればいい」と険しい表情になりヘルパーの手を払い除ける。洗

てもうれなかつた。皮膚トラブルも出現し、カンファレンスを開催する。自分では、できなくなつた事を認めたくない気持ち。人にやつてもう恥ずかしさなど、いろいろな気持ちがある。「ヘルパーの姿が、なるべく見えないよう後に方からやつてみてはどうか」とYさんの気持ちをチームで共有し、実践してみると不思議と拒否がなくなつた。

Yさんに「排泄を他人に託す心の痛みを知る」を改めて教えられた。また、チームケアの大切さを実感し、この学びを活かし続けていきたいと思う。

私は小さい頃から祖父母と過ごす時間が長く、人と関わることが好きでした。高校生の頃から福祉、介護に興味を持ち、サンビレッジ国際医療福祉専門学校に入学しました。ふれあいタイムや実習では、利用者とのコミュニケーションや関わりの難しさを感じることもありましたが、少しの手助けに「おおきに」「ありがとうな」との言葉に、ますますこの仕事に魅力を感じました。

私は新生会に入社して7年が経過しました。仕事をしていく中で、体調を崩し休むこともあります。その都度、他の職員に勤務変更をしてもらい、フォローしてもらいました。申し訳ない気持ち、迷惑をかけてしまっていることに療養中も落ち込んでいました。しかし、体調が戻り職場復帰すると「もう大丈夫?」「無理しないでね」と心配の声を掛けてもらい、仲間の温かさを嬉しく感じ、同時に自分も他の仲間が困っている時には、力になつていくことを改めて心に誓いました。



Family 「家族の声」 Voice



スケジュールを用意する家族であると同時に、自らも何か出来る事はないかと新生

メディアのケアマネジャーに相談し、1年前からサンビレッジ瑞穂の『ほっこりカフェご縁』で毎週木曜日の午後の2時間カフェママをしています。利用者さんと交わす最初の言葉は、「やつとかめ」「お元気ですか」で、始まりBGMは昭和の歌謡曲、知っている曲が流れるごとく、一緒に手拍子。そんな自由な空気の中で、青春時代のお話を聞かせて頂けます。



して、笑顔でお待ちしています。お気軽に立ち寄りください。



**一期大
切に…**

馬場 佐和子

在宅介護でサンビレッジのサービスを利用する家族であると同時に、自らも何か出来る事はないかと新生

メディアのケアマネジャーに相談し、1年前からサンビレッジ瑞穂の『ほっこりカフェご縁』で毎週木曜日の午後の2時間カフェママをしています。利用者さんと交わす最初の言葉は、「やつとかめ」「お元気ですか」で、始まりBGMは昭和の歌謡曲、知っている曲が流れるごとく、一緒に手拍子。そんな自由な空気の中で、青春時代のお話を聞かせて頂けます。

西田 美憂

リハビリセンター白鳥
明るい笑顔を生かして
何事にも全力で取り組みます！



小島 菜奈愛

サンビレッジフーズ
スポーツをする事 音楽を聞く事
料理をする事が好きです



見田 佑斗

サンビレッジ新生苑
剣道初段 甘い物が好きです



河村 穂乃香

もやいの家 瑞穂
食べること・猫が好きです



45期生紹介

New Faces

美濃輪 あみ

サンビレッジ新生苑
カフェ巡りが好きです



洞井 梨杏

サンビレッジ新生苑
いつも元気で笑顔がじまんです!!
スポーツが大好き!



島 芙美香

サンビレッジ宮路
うさぎが好きで、飼っています
笑顔で頑張ります



中島 啓一郎

サンビレッジ国際医療福祉専門学校
作業療法学科 ギター好き



Grade
1

高井 夏海

サンビレッジ新生苑
趣味は書道です！



北澤 雅貴

サンビレッジ新生苑
趣味…ランニング、スポーツ
好きな食べ物…オムライス・ハンバーグ



福富 麻亞子

サンビレッジほづみ駅前
楽器が吹けます(トロンボーン)
寝ることが好き

